

令和 8 年 7 月 三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和 8 年 7 月 1 7 日（金）午後 2 時
(2) 閉 会 令和 8 年 7 月 1 7 日（金）午後 3 時 1 0 分

2 場 所 三木市役所 5 階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
第 2 会議録の承認について
第 3 会議の公開・非公開の決定について
第 4 協議事項 4 令和 7 年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書（案）について
第 5 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
第 6 報告事項 社会教育委員の委嘱について
第 7 報告事項 各課（室）の所管事項について
第 8 その他
第 9 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	大 北 由 美
委 員	梶 正 義
委 員	稲 見 秀 行
委 員	西 岡 愛

5 欠席者

委 員	石 井 ひろ美
-----	---------

6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	森 田 眞 規
教 育 振 興 部 長	山 口 正 明
教 育 総 務 課 長	田 中 栄 一

教 育 施 設 課 長	大 塚 芳 徳
生 涯 学 習 課 長	大 西 武 宏
図 書 館 長	河 端 康
文化・スポーツ課長	大 西 良 門
学 校 教 育 課 長	武 内 克 朗
教育センター所長	小 池 宏 尚
小中一貫教育推進室長	仲 谷 淳
教 育 ・ 保 育 課 長	荒 田 知 宏
人 権 推 進 課 長	平 田 美 香
こ ども 福 祉 課 長	岩 瀬 文 彦
教育総務課課長補佐	石 田 勝 彦
教 育 総 務 課 主 任	富 岡 憲 登

7 傍 聴 者 なし

【開会】

○大北教育長：ただいまから、教育委員会 7 月定例会を開会いたします。

本日の委員の出欠状況について御報告いたします。石井委員が欠席されております。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項には、教育委員会は教育長及び在任委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができないと規定されております。

本日は教育長及び 3 名の委員が出席しておりますので、会議が成立していることを確認いたします。

それでは、本日の傍聴者について事務局から報告をお願いいたします。

○田中教育総務課長：本日は、傍聴者はおられません。

以上でございます。

○大北教育長：それでは、議事日程に従いまして議事を進めてまいります。

【日程第1 会議録署名委員の指名について】

○大北教育長：日程第1は、会議録署名委員の指名についてでございます。

会議録署名委員は、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、稲見委員と西岡委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

【日程第2 会議録の承認について】

○大北教育長：次に、日程第2、会議録の承認についてです。

6月定例会の会議録は既にお手元に送付しておりますので、御確認いただいていることと存じます。御意見や修正点がございましたらお願いいたします。

(一同うなずき)

それでは、6月定例会の会議録は承認されたものといたします。

【日程第3 会議の公開・非公開の決定について】

○大北教育長：次に、日程第3、会議の公開・非公開の決定についてでございます。

本日の議事には非公開案件はございませんので、全て公開で審議いたします。

【日程第4 協議事項4「令和7年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書（案）について」】

○大北教育長：次に、日程第4、協議事項4「令和7年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書（案）」について、事務局から説明をお願いいたします。

○田中教育総務課長：別冊の協議事項4の資料をお願いいたします。

「令和7年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書（案）」について御説明いたします。

本件は、前回6月定例会における議論や御意見を踏まえて、改めて御提案するものでございます。

まず1、点検・評価報告書（案）は次ページからの内容で、後ほど御説明

いたします。

次に２、前回６月定例会からの修正内容は３点ございます。

初めに（１）第２章の追加により、報告書の全体像が把握できるよう表紙や目次等を追加しております。なお、第２章のうち令和７年度の教育委員会所管業務の歳出決算見込額は、９月定例会で御提示いたします。

次に（２）６月定例会で委員から指摘のあった修正すべき内容について修正を行っております。

また（３）所管課で修正が必要と判断したそのほかの内容も修正しております。

次に３、今後のスケジュールについて御説明いたします。

９月定例会で議決をいただいた後、報告書を市議会へ提出するとともに、市のホームページ及び市役所３階情報公開コーナーで公表いたします。

また、１１月には、市議会常任委員会で報告書の概要を報告いたします。

本日の協議により、教育委員会として点検・評価報告書案を確定し、これを学識経験のある外部評価者に依頼して評価を行います。

外部評価者は、令和６年度評価に引き続き、兵庫教育大学教職大学院元教授の廣岡徹氏と神戸大学教授の山下晃一氏にお願いいたします。

続いて、次ページ以降の具体的な点検・評価報告書案を御説明いたします。

今回、６月には提示できていなかった計画の前段部分（２、３ページの「はじめに」及び４ページの目次、１４ページからの第２章）を追加しております。

また、２３ページからの第４章施策の点検・評価は、報告書の主要部分でございますが、６月定例会での委員の御意見を踏まえ、修正・追加箇所が分かるよう、赤字で示した資料を用意しております。

本日の協議をもって教育委員会として報告書案を確定し、外部評価によって点検・評価の客観性を確保してまいります。

以上で説明を終わります。御協議のほどよろしくお願いいたします。

○大北教育長：前回の御指摘箇所と事務局が修正した箇所は赤字で示しておりますので、そちらを中心に御覧いただきたいと思います。

また、人権教育推進に関する修正も行っており、関係課の２名の課長にお越しいただいています。５７ページからの赤字部分を開いていただき、御意見を伺いたいと思います。

○梶委員：５８ページのポスターについて、具体的な活動内容が分かりやすく書かれており、一般市民のかたにも理解しやすいと思いました。

簡単なコメントで恐縮ですが、分かりやすくなったと感じました。ありがとうございました。

○大北教育長：ポスターの配布場所が詳しくなったということでしょうか。ほかにございませんか。

○平田人権推進課長：５７ページを御覧ください。前回、稲見委員から御質問のあった指標の数字についてですが、自治会のグループ学習のみの数字となっており、企業の内容は含まれておりません。以上です。

○岩瀬こども福祉課長：５８ページの中ほどにある「虐待防止の推進」の成果の表現について、「関係機関」の記載を具体化する御指摘をいただき、「学校・行政等関係機関」と修正しております。

○大北教育長：５７、５８ページの人権教育推進と虐待防止推進の部分は「学校・行政等」と記載して問題ないか御確認ください。

梶委員の御指摘を反映したものです。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

以上が教育委員会以外に関する修正箇所かと思いますが、ほかにございますでしょうか。

ありがとうございます。修正箇所は赤字のままで進めてまいります。ありがとうございました。

両課長に御礼申し上げます。

それではページ指定なしで、修正箇所を御覧いただいたものとして、追加の御指摘があればお願いいたします。

○稲見委員：文言に関することです。５９ページ③に関してですが、各地区の「まちづくり協議会」との連携と記載されていますが、統一するのであれば「市民協議会」で統一したほうがよいと思います。

町名ごとに「まちづくり協議会」等で異なる名称があるので、市が使う統

一用語として「市民協議会」が適切かと考えます。それだけです。

○大西生涯学習課長：御指摘ありがとうございます。御提案のとおり修正いたします。

○大北教育長：「まちづくり協議会」を「市民協議会」と統一する件ですが、地域ごとに名称が異なっておりますね。

ほかにございませんか。

○梶委員：失礼します。前回、グローバル人材に関して英語力に偏った捉え方がされるかもしれないと指摘させていただきましたが、英語力を基礎としつつも幅広い力として具体的に記述していただき、ありがとうございます。以上です。

○大北教育長：ほかにございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局が修正を行いましたので、新たな御指摘がなければ、このまま進めさせていただきます。

さきほど申し上げたように、外部評価者に評価を依頼し、9月に市議会へ提出いたします。

多くの分量でしたが、ありがとうございました。

【日程第5 報告事項「三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について」】

○大北教育長：次にまいります。

日程第5、報告事項「三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について」、事務局からお願いいたします。

○武内学校教育課長：資料の4ページをお願いいたします。

三木市教育委員会顕彰規則第4条の規定に基づき、三木市教育委員会被顕彰者を決定しましたので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条第2項第4号の規定により報告いたします。

兵庫みらい農業協同組合様から市内の小学校及び特別支援学校の4年生に、

食農教育雑誌「ちゃぐりん」３７５冊、総額２０万２，５００円相当の御寄附をいただきました。

命、自然、食べ物、健康、農業の大切さを考えるきっかけづくりに活用してまいりたいと考えております。

報告は、以上でございます。

○大北教育長：今、課長から報告がありました。

何か御質問がございましたら、お願いいたします。

○西岡委員：配布される時、その学校で授業のような形で本を皆で見たり、説明したりする時間はあるのでしょうか。

○武内学校教育課長：おそらく、どのような経緯で学校に送られたかといった説明の機会はあると思います。配布学年は４年生ですが、食育・食農を考える上では５年生の米作りや食料生産などの学びに活用できると思います。したがって、この冊子を使ってどのようなことを勉強していくか、簡単な説明や周知はあると考えております。

○西岡委員：ありがとうございます。

【日程第６ 報告事項「社会教育委員の委嘱について」】

○大北教育長：では、次にまいります。

日程第６、報告事項「社会教育委員の委嘱について」、事務局から報告をお願いいたします。

○大西生涯学習課長：続きまして、５ページを御覧ください。

三木市社会教育委員の委嘱について、御報告いたします。

社会教育法第１５条及び三木市社会教育委員条例第２条第２項の規定に基づき、社会教育委員を別紙のとおり委嘱しましたので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第２条第２項第５号の規定により報告いたします。

委嘱理由は任期満了による改選のためで、委嘱期間は令和８年７月１日から令和１０年６月３０日までの２年間です。

名簿は、次ページのとおりでございます。
以上でございます。

○大北教育長：説明に関して質問や御意見がございましたら、お願いいたします。

○稲見委員：7月から2年間ということですね。

今回の教育振興基本計画の中で、社会教育の推進が項目に挙げられていると思います。

社会教育委員には、社会教育に関する計画の立案や調査研究の役割が大きいと認識しております。

ぜひ貴重な御意見をいただき、教育振興基本計画に基づく社会教育の推進に協力をいただくよう、会議を進めていただければと思います。以上です。

○大西生涯学習課長：ありがとうございます。

令和7年度の協議会から地域づくりやまちづくりに関することも社会教育委員で議題とし、令和8年度も継続して議論する予定です。今後もその方向で検討してまいります。

○大北教育長：第1回目はいつでしたか。

○大西生涯学習課長：8月5日の予定です。

○大北教育長：第1回目の社会教育委員会は8月5日に開催します。また、御報告いたします。

【日程第7 報告事項 各課（室）の所管事項】

○大北教育長：では、次にまいります。

日程第7、報告事項「各課室の所管事項について」、事務局から報告をお願いいたします。

○田中教育総務課長：教育委員会事務局各課の所管事項のうち、まず教育総務課の所管事項について報告いたします。資料は7ページです。

令和８年度三木市教育委員会奨学生募集は、先月６月２２日に終了しました。

募集結果は、８ページに記載しております。

三木市教育委員会奨学規則第６条の規定に基づき、令和８年度奨学金給付の可否を決定しましたので、申込及び承認状況について御報告いたします。

申請者及び奨学生決定者数は表のとおりで、令和８年度の承認者は１３９人です。令和７年度の１８３人に比べ４４人、２４パーセント減少しています。

不承認理由は所得要件を満たさず、同一世帯の総所得が基準を超えているためで、不承認者数は９人です。

奨学金給付予定額は、総額で１，３２８万４千円の見込みです。

以上で、教育総務課の報告を終わります。

○大北教育長：御質問はございませんか。

よろしいでしょうか。

では、教育施設課、お願いします。

○大塚教育施設課長：資料の９ページを御覧ください。

教育施設課から主な学校施設の整備工事について、御説明いたします。

緑が丘中学校の外壁等改修工事は棚田建材株式会社と契約締結し、工期は６月５日から９月３０日までの予定です。契約金額は１億９８３万５千円です。現在は、着工に向けて準備調整中です。

緑が丘東小学校の大規模改修工事、三木中学校北校舎の外壁等改修工事及び三木中学校体育館への空調設備設置新設工事は、この夏休み期間中の工事に向け順調に進めています。

以上、教育施設課からの報告でした。

○大北教育長：質問などございますか。

よろしいでしょうか。

では、生涯学習課、お願いします。

○大西生涯学習課長：１１ページを御覧ください。

生涯学習課からの報告です。明日から夏休みが始まるため、各公民館等で

趣向を凝らしたさまざまなサマースクールを予定しております。

13 ページ中段には各地区公民館の納涼大会や夏祭りの予定を一覧で掲げております。お時間あれば、ぜひ御参加ください。

なお、明日18日には別所町公民館の夏まつりも予定されています。

口頭報告ですが、令和8年度予定の加佐コミュニティスポーツセンターの中規模改修工事は、令和8年6月24日に入札が行われ、無事落札されました。昨年の定例教育委員会で稲見委員から御質問のあったエアコン設置についても進めております。年度内工事完了をめざし、準備を進めます。

以上、生涯学習課からの報告でした。

○大北教育長：よろしいでしょうか。

では、図書館、お願いします。

○河端図書館長：図書館からの御報告をさせていただきます。

14 ページを御覧ください。

図書館では夏休み期間中、子ども向けのさまざまなイベントを実施しております。記載内容は昨年とほぼ同様ですが、令和8年度も多彩な企画を準備しております。

それらの多くは定例のものですが、今回は定例以外の事項を御報告いたします。

令和7年度に図書館のシステムが更新され、図書館アプリを導入いたしました。令和8年度に入り、このアプリの説明及び広報活動として、市内の公民館を訪問し、女性セミナーや高齢者教室の時間を少し頂戴してPRを行っております。現在、全10館中6館を訪問済です。

また、図書館だよりについては、現在3館でそれぞれ発行しておりますが、令和8年度10月からこれを一本化し、中身を充実させ、より内容の濃い図書館だよりを発行してまいります。

図書館だよりの余白がある月には、三木市出身の作家であり若手アーティストでもある貴戸湊太さんにエッセイの執筆をお願いする予定です。これについては、文化会館の館長と調整の上、貴戸さん御本人からも了承を得ております。掲載時期は毎月ではなく、余白がある月に掲載し、次回掲載時期をPRしていく形を考えております。内容は約800字程度のエッセイとなる予定です。

以上、図書館からの御報告とさせていただきます。

○大北教育長：図書館の事業についてほかに何かございますでしょうか。

よろしければ次にまいります。文化・スポーツ課、お願いします。

○大西文化・スポーツ課長：18ページをお願いいたします。

実施した事業及び19ページの実施中の事業は、資料のとおりです。

今後の予定ですが、あさって19日、日曜日に第40回三木市吹奏楽祭を文化会館大ホールで開催いたします。

また、25日、土曜日にはスポーツ振興基金40周年記念事業として、元サッカー日本代表監督の岡田武史氏をお招きして文化会館小ホールでスポーツ講演会を行います。

同じ25日、土曜日からは企画展として「秀吉・秀長の播磨攻めと城郭展」を歴史資料館で開催いたします。

なお、資料には記載がありませんが、歴史資料館の入館者数は、「豊臣兄弟！」放送以降、1月から3月までの来館者数が前年比13パーセント増、令和8年度4月から6月までは約60パーセント増加しております。秀吉本陣跡の平井山についても、枯葉がなくなるほどの来場者があると聞いております。

以上、文化・スポーツ課からの御報告です。

○大北教育長：ほかに御質問がなければ、次にまいります。学校教育課、お願いします。

○武内学校教育課長：21ページを御覧ください。

まず、実施した事業について、御報告いたします。

③番を御覧ください。

6月25日に「未来を創る学力育成三木モデルⅡ」に基づくScTN質問紙の効果的な活用に向けた研修会を実施いたしました。5月の定例会で教育委員の皆様からScTNアンケートの活用について、より詳しい御説明を求められましたので、この機会にアンケートの導入目的及び活用方法を改めて御説明いたします。

24ページを御覧ください。

導入目的ですが、本市では「未来を創る学力育成三木モデルⅡ」により、子どもたちの主体性、協働性、創造力を育てる授業づくりを進めております。従来は学力をテストの点数で把握してきましたが、点数だけでは学習意欲や考えながら学んでいるか、仲間と学び合っているかなど授業の成果全体は分かりませんでした。そこで、令和8年度からは、テストの結果に加え、アンケートの結果からも学びの状況を把握し、よりよい授業づくりにつなげることを目的にScTNアンケートを導入しております。

このアンケートでは、自分で考えながら学んでいるか、友達と意見を交換しながら学んでいるか、学んだことを生活や社会と結び付けているか、課題に粘り強く取り組んでいるか、学校や学級をよりよくしようとしているかといった内容をグラフで可視化し、子どもたちの授業に対する感じ方を把握できます。

活用に当たっては、このアンケート結果のみで評価するのではなく、全国学力・学習状況調査や基礎学力定着化事業の結果と合わせて分析を進めてまいります。

分析の観点としては、自分で考える時間が多い学級や教科の学力伸長、話し合い重視のクラスでの効果、安心して発言できる環境と学ぶ意欲の関係などを検証し、授業改善に生かしていくことをめざしております。

つまり、ScTNアンケートの活用は、どのような授業が子どもの学びや学力向上につながっているかを客観的データで明らかにする取組と考えております。

以上で、導入目的と活用方法の説明を終わります。

再度、21ページに戻ります。

⑤番を御覧ください。

豊地小学校統合方針案に関する住民説明会を開催いたしました。詳細は、23ページを御参照ください。

6月27日（土）午後と30日（火）夜間の2日間、細川町公民館において、教育委員会の統合方針案に関する住民説明会を開催いたしました。参加者は延べ49人、これには傍聴者6人を含んでおりますが、地域住民や保護者の皆様に御出席いただきました。

説明会では、事務局から3つの柱について説明いたしました。

1点目、統合校についてです。児童数推移や教育活動の充実、通学環境を総合的に判断し、隣接する三木小学校との統合が妥当であること、通学には

スクールバス運行を検討していることをお伝えしました。

2点目、統合時期についてです。児童数減少が喫緊の課題のため迅速な対応が必要である一方、準備期間を確保するため令和10年4月に統合することを御説明しました。

3点目、統合準備委員会の発足についてです。保護者、地域、学校、教育委員会の4者で構成し、4つの専門部会を編成して円滑な統合をめざす体制を示しました。

質疑応答では、参加者から貴重で核心を突いた御意見、御要望をいただきました。具体的には、単に児童数の多い学校に吸収されるのではなく、両校のよさを生かした新たな学校文化を創ってほしいとの前向きな意見や、地域とのつながりや伝統を統合後も継承してほしいとの声が上がりました。

また、子どもや保護者が事前に学校見学できる機会の確保や、統合の進捗状況やプロセスを分かりやすく周知してほしいとの安心感を求める要望もございました。更に、通学ルートの交通渋滞緩和やスクールバス負担軽減、安全対策やメンタルケアへの配慮に関する要望もありました。

説明会において、明確な反対意見はなく、一定の理解を得られたと受け止めております。しかし、地域の象徴である学校がなくなる寂しさや思いは重く受け止めております。

現在、豊地小学校は全学年1学級当たり10人以下の非常に小さな規模です。少人数ならではの温かさや目配りのよさは認識しつつも、多様な人間関係の中で切磋琢磨できるためには一定の集団規模確保が重要と考えております。

教育委員会としては、地域や保護者の深い愛着と想いに寄り添い、未来を生きる子どもたちのために望ましい教育環境構築をめざし、統合を丁寧かつ着実に進めてまいります。

今後は、8月の総合教育会議や教育委員会会議で方針を決定し、9月を目途に統合準備委員会を発足して準備を進める予定です。

以上で、住民説明会に関する御報告を終わります。

再び、21ページに戻ります。

資料にはありませんが、7月2日付けで市内学校園に防火安全対策の再徹底通知を発出しております。これは6月に東京都内の小学校で発生した火災を受け、三木市消防長からの通知に基づくものです。火災が発生した場合の被害拡大防止のため、火災予防対策や避難施設の維持管理、消防設備の点検、

そして、防火管理体制の再確認を指示しております。

続いて、2の今後の予定は資料のとおりです。

学校教育課の報告は、以上です。

○大北教育長：学校教育課からの報告に対して、何かございましたらお願いします。

○梶委員：ScTNアンケートの御説明ありがとうございます。よく理解できました。

これまで数字の学力だけでなく、学びの過程や学習に向かう子どもの姿勢を重視し、それを授業改善に生かして学力や生きる力の育成をめざすというのは大変よいと思います。

授業の改善に加え、できれば学年によっては、子ども自身がアンケートを通じて自分の学び方や姿勢を自己評価し、改善へとつなげることができる年齢の児童もいると思います。そうした活用もぜひお願いしたいです。

また、生徒指導の説明で自己コントロール力や自己を見つめる力が授業を通じて生活面にも役立つ、非常によい取組だと感じます。積極的に推進し、途中の成果も御報告いただけますとありがたいです。よろしくお願いいたします。

以上です。

○大北教育長：教師の授業改善とともに、子どもたちの自己評価にもつなげて学力向上を図るということですね。途中経過や結果の報告を期待しておりますが、いつ頃報告可能でしょうか。

○武内学校教育課長：現在、学校現場にはScTNアンケートの活用方法の周知が完了しており、2学期から実際に授業改善に取り組む予定です。研究推進担当者も集まる機会があり、情報を集約して2学期中には実践を踏まえた報告ができるかと思っています。準備が整いしだい、改めて御報告いたします。

○大北教育長：学校や教育委員会で評価し、次の施策に生かしていくという建付けですので、また報告をお願いします。ほかに質問はございませんか。よろしければ次にまいります。教育センター、お願いします。

○小池教育センター所長:教育センターからの御報告をさせていただきます。

資料は26ページを御覧ください。

③みっきいルームについてです。令和8年6月末時点で7人の子どもが活動しております。6月に入り、中学生からの入級相談が若干増えてきたように感じております。

続きまして、今後の予定について御説明いたします。

①第1回研究グループの研修会を開催いたします。大学教授を含む推進委員から研究に関するアドバイスをいただくとともに、私ども事務局からは適正な予算執行について説明する予定です。

②以降につきましては、夏季の専門研修講座を計画しております。

令和7年度から「Miki Education Days」という名称で実施しており、最新の知見や今日的な課題に関する実践を積んでおられる講師、また、ほかのセミナーやSNS等で注目を集めている講師の中から、市内教職員にぜひ聞いていただきたいかたを選定しております。

受講が学びのきっかけとなり、研修後も教職員が講師とSNS等でつながって継続的に学べることを目的としております。

また、今週からは市外の教職員の受付も開始し、市外教職員との交流も生み出していきたいと考えております。

周知用のチラシを添付しておりますので、後ほど御高覧ください。

令和8年度は子ども向けの講座も2つほど実施したいと考えております。

27ページの④と⑥が該当いたします。

④は、プログラミング教育にも活用されているマインクラフトの講座です。

⑥は、プロのクリエイターを招聘して行うCanvaのデザイン教室です。

どちらも定員を大きく超える応募をいただいております。Canvaの講座は講師の御厚意により、当初午後のみの開催予定でしたが、午前にも同じ講座を開設することとなりました。より多くの子どもたちに参加いただける状況を喜んでおります。

続きまして、28ページを御覧ください。青少年センターについての内容を記載しております。

29ページの今後の予定⑤になりますが、7月31日に三木市青少年補導委員会の管外研修を計画しております。

教育センターからは以上でございます。

○大北教育長：何かございますでしょうか。

○梶委員：研修講座はとても魅力的なものが多く、かつて受けたような講座とは異なり、お話中心ではなく、すぐに授業づくりや教育実践につながる内容で組んでいただきありがとうございます。私も参加したいと思いました。

また、市外の教職員とつながる研修についてですが、とてもよい発想だと思います。具体的にどのように進めるのか教えてください。以上です。

○小池教育センター所長：まず私どもができる第一のことは、学びのきっかけやつなぎのきっかけを提供することだと考えております。その後のつながりの継続については、受講者のかたがたが自主的に講師とつながっていくことを期待しております。令和7年度からこのスタイルを取り入れており、市町を越えた交流がリアルに、また、SNS上でも展開されております。

○梶委員：ありがとうございました。

○大北教育長：他市町からの出席依頼は出されていますか。

○小池教育センター所長：市外のかたからも非常に多くの応募をいただいております。市外枠もほぼ埋まっている状況です。

○大北教育長：わかりました。ほかにございませんか。

はい、では、小中一貫教育推進室、お願いします。

○仲谷小中一貫教育推進室長：36ページを御覧ください。

まず実施した事業の①ですが、第1回開校準備委員会の学校運営部会及び施設整備部会を開催し、今後の流れを共有いたしました。

今後の予定としては、7月27日に開校準備委員会の委員のかたがたにお声掛けして、現在10人の参加申込がございしますが、大阪府和泉市の横尾学園に施設見学に伺う予定です。

吉川に建設予定の小中一貫校は段差の多い地形であり、和泉市の施設も同

様の地形を活用して建築されておりますので、参考になる点が多いと考えております。

以上、小中一貫教育推進室からの報告です。

○大北教育長：報告について何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。では、教育・保育課、お願いします。

○荒田教育・保育課長：37ページを御覧ください。

実施した事業として、③就職フェア（民間認定こども園）を6月28日にメゾン・ド・リヴァージュで開催しました。参加は3人と少なかったものの、全民間認定こども園で積極的に情報交換がなされました。

教育・保育課では市内の処遇改善や三木市独自の就業体験、修学資金の案内を行っております。

続きまして、⑦幼保小架け橋期カリキュラムの第6回検討委員会が7月7日に教育センターで開催され、委員34人が参加しました。5歳児及び1年生前期のカリキュラムシート検討や実践事例の共有を実施しております。

また、⑧保育者合同研修を7月10日に教育センターで開催し、一般社団法人Hug me代表の寺本氏を講師に「自分を大切にできる子を育てる性教育」について学びました。性暴力防止法が今年12月25日に施行されることに伴う研修で、26人が参加しました。

今後の予定では、④幼小合同研修が8月18日に教育センターで開催されます。泉大津市の楠小学校竹野教頭先生による講演で、スタートカリキュラムの継続的な実践について学ぶ予定です。

39ページは、令和8年度幼保小架け橋期カリキュラム作成の進捗状況です。

1番は1年生スタート期の取組で、令和7年度から8年度への引継ぎとして、第4回検討委員会で子どもが安心・楽しく過ごせる環境について協議しました。

具体的には、①環境の接続（好きな遊びや自由な時間・場所の確保）、②学びの接続（床に集まる活動や園での経験の活用）、③関係の接続（友達や教員とのつながりづくり）について現場の教職員から実践案を提案いただいております。

2 番は令和 8 年度の計画と進捗で、第 6 回検討委員会まで終了しており、8 月 1 8 日の研修後に第 7、8 回の検討委員会を経てカリキュラムを完成させる予定です。最終は 2 月 9 日の年大会で全体共有し、運用に向けた説明を予定しております。

4 0、4 1 ページには「幼保小架け橋だより」を作成しておりますので、後ほど御覧ください。

以上、教育・保育課の報告事項です。よろしくお願いいたします。

○大北教育長：教育・保育課からの御報告について何かございますか。
よろしいでしょうか。

【日程第 8 その他】

○大北教育長：では、次に日程第 8、その他の件ですが、委員の皆様から何かございましたらお知らせください。よろしいですか。ございませんか。
事務局、何かございますか。

【日程第 9 次回定例会の開催日程について】

○大北教育長：それでは、次に日程第 9、次回定例会開催日程について事務局から説明をお願いします。

○田中教育総務課長：次回 8 月の定例会についてでございます。

8 月 2 1 日の金曜日、午後 3 時から、市役所 5 階大会議室での開催を予定しております。以上でございます。

○大北教育長：次回の日程について、この日程で決定してよろしいでしょうか。

(一同うなずき)

ありがとうございます。

【閉会】

○大北教育長：以上をもちまして、7 月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

【令和 8 年 7 月三木市教育委員会定例会会議録】

教育長

署名委員

署名委員

記録者
